

JUMP !



パリ日本人学校
2年1組学級通信 第32号
2025年12月12日
r-shishido@gfr.parinichi.com

国語「みきのたからもの」続編・・・

今週の国語「みきのたからもの」の学習では、自分たちがお話の作者になり、続編づくりに挑戦しました。テーマは「20年後の未来」です。はたして、みきは本当に宇宙飛行士になる夢を叶えることができたのか！？ナニヌネノンと再会することができたのか！？子どもたちは教科書をよく読み取り、想像を広げながら、自分なりの未来の物語を考えました。一人ひとりの発想が本当に面白く、どの話もさらに続きがきになるものばかりです！本当は全員分を紹介したいところですが、今回は裏面に一部のみ紹介させていただきます。是非ご家庭で、お子さんのノートをご覧になり、どんな未来を描いたのか話題にしていただければと思います。



次週の予定

	15日(月)	16日(火)	17日(水)	18日(木)	19日(金)
1	生活	算数	算数	フランス語	国語
2	算数	図工	国語	体育	算数
3	英会話	図工	書写	国語	体育
4	国語	国語	国語	音楽	音楽
5	国語	国語	学活	生活	算数
6	体育	フランス語	自由あそび	生活	道徳

※二学期制作した図工の作品をもち帰ります。ご自宅に大きめの袋（紙袋等）がありまし
たら16日（火）までに、持たせていただくようお願ひいたします。

「みきのたからもの」20年後の未来・・・

安東詩織さん

あれから二十年がたちました。みきは、もう大人です。
ですが、あの時のできごとは、まだわ寄せていません。

みきは、もうりっぱなうちゅうひこうしです。今でもあの石をもっています。今がらうちゅうにしゅつぱつします。
みきが、うちゅうに行くときに一番楽しみにしているのは、ナニヌネノンに会うことです。もちろん、たびも楽しみです。

「もちものをかくにんしなくちや。」「あつ、いけない、青い石わすれてた。」「よし、じゅんびおわり！」

今からしゅつぱつするようです。ゴゴゴゴと音をたてながら。それからです。みきは、うちゅうにつきました。

「そうだ、青い石を出さなきや。」

青い石を出したとたんに、みきは、遠くへつれて行かれる
ように体が言うことをききません。ですが、ついたところは
ポロロン星・・・ナニヌネノン・なんと、ナニヌネノンがいます。みきは思わず、

「ゆめみたい。」と言いました。

「でも、これは本当だよね？」

「みきちゃん、来てくれたんですね。」

みきはうれしくて、ないてしまいました。

「うれしい、本当にうれしい。」

「わたしもです。」

ふたりは、二ど田のさいかいを、とてもうれしくおもいました。

吉岡 知哉さん

あれから二十年がたちました。みきはうちゅうにとび出すすんぜんです。とてもきんちょうしすぎて、あの石をわ寄せしました。気がついたみきは、すぐに取つてきましたが、こんどは、石を入れるはこを落とすなど、いろいろなハプニングがおきながらも、ぶじ、りりくしました。そして、ポロロン星に行つたみきは、ナニヌネノンにエメラルドをあげました。そして、たくさんあそびました。

「これからも、石をたくさんこうかんしようね。」と言いました。そして、帰りました。

森中 佑さん

あれから二十年がたちました。みきは、うちゅうひこうしにもなりました。ポロロン星の石をもつてうちゅうに行きました。本当にポロロン星の石が教えてくれました。十二時間くらいたつて、ポロロン星につきました。そしてみきは、ナニヌネノンをさがしました。二時間くらいたつて、みきはナニヌネノを見つけました。それで、ナニヌネノンの声をかけました。ナニヌネノンは、「本当にゆめがかなつた。」と言いました。それから、なかよくくらしました。五年がたちました。みきは「もう、地きゅうに帰らなくちゃ。」と言つて、みきは帰つていきました。

